

深みのある輝きが特徴のガラス系コーティングによる強固な保護層と、
光触媒によるセルフクリーニング作用により、車の塗膜の劣化を防ぎ、
簡単なお手入れだけで美しい状態を保ちます
もちろん、施工作業性にも優れた全色対応の製品です。

DIAMOND FLASH

ダイヤフラッシュ

酸化還元反応による自己洗浄機能

被膜硬度：7H前後



セット内容

ダイヤフラッシュ（100ml）×1

施工証明書×3

識別シール×3

背付きスポンジ×4

マイクロファイバークロス赤×2

マイクロファイバークロス青×2

アパタイト被覆型酸化チタン

【ダイヤフラッシュ】は、可視光線でも反応する【光触媒】（アパタイト被覆型酸化チタン）を、
特殊製法を用い「シリカ系ガラスポリマー」とノーバインダーで融合させた画期的な商品です



ダイヤフラッシュに配合された光触媒（アパタイト被覆型酸化チタン）は、
光を受けることで空気中の水分と反応し、
水と非常になじみの良い親水基（-OH）を塗装表面に作り出します

酸化チタンは、水との相性が良いため、汚れの下に水が潜り込み、汚れを浮き上がらせ、
強固なガラス系の保護層が、紫外線・酸性物質・汚れからボディをしっかりガード
さらに、光触媒のセルフクリーニング作用で、汚れや不純物がより付着しにくくなります

光触媒によるセルフクリーニング作用

【ガラス系コーティング】	【光触媒】 （アパタイト被覆型酸化チタン）
●塗装面の保護 ●水垢防止 ●防汚 ●鏡面光沢	●セルフクリーニング
紫外線・酸性物質・汚れを シャットアウト。塗装面の劣化現 象を抑えます。	光触媒の作用によって、ボディ に汚れや不純物がより付着しに くくなります。



ダイヤフラッシュ施工方法

①ボディ塗装表面のコーティング前処理をします

- ・洗車→泥や埃、黄砂、塗装表面の油性分落とし
- ・クスマシ汚染除去→チクチク、ザラザラ等の鉄粉や異物落とし
- ・塗装面の調整磨き→小キズ消し／鏡面磨き Opt.

②濯ぎ洗い

- ・脱脂（水垢取り）溶剤の残り成分（パウダー）をきれいに洗い落とす。
- ・洗剤成分（アルカリ性分や酸性分）を水で良く洗い流し、塗装表面を中性にする。

③水分を拭き取る。

- ・タオルやプラスセーヌで塗装面の水分を減らす
- ・モールやパーツの隙間などに入ってる水滴がコーティング時にボディ表面に出てこないよう、エアガンで丁寧に追い出す
- ・タオルやファイバークロスで塗装面の水分を拭き取る

④ダイヤフラッシュのコーティング

①ダイヤフラッシュをスポンジに適量取り、塗装面40cm□を1範囲として、横→縦→横方向に万遍に塗付（コーティング）します

②次のスパンに移り①を繰り返します

※使用量は少なめ、少なめに使い、足らなければ足す、感覚で使う

⑤ダイヤフラッシュの拭き取り

- ・塗り始めてから15～20分固着時間を取り、拭き上げて下さい
- ・付属のファイバークロス（2枚）を先拭き用と仕上げ拭き用に分けてください
- ・先拭き用と仕上げ拭き用のファイバークロス両方を持って作業に当たります

①先拭き用のファイバークロスをを使い、強く擦らないように丁寧に拭き取ります

②仕上げ拭き用のファイバークロスで、拭き残し、拭き斑の内ように丁寧に拭き上げます

③※様々な角度から目視し、拭き残しやムラを確認してください

※取れない斑が出た場合は「ベースアジャスター」をマイクロファイバークロスに付けて拭き取って下さい

注意①塗りはじめから15分以内で、拭き仕上げて下さい。

注意②縦横に何回も塗り込まない。塗り込んでいる間に溶剤が固まって来るので、危険です。要注意！